

テ出テ不定ヲ付ケルハ真不定ニ非ズ然レバ天
祖遺勅ニシテ若シ可變ナル法が有ラバ不定ノ
過有ルベキナレドモ天祖遺勅ナル者ハ必ズ不
可變ナレバ何ゾ定因ニ非ズト云フベキヤモト
不可變ヲ以テ天祖遺勅ヲ證セズ天祖遺勅ヲ以
テ不可變ヲ證ス由テ天祖遺勅ナル者ハ不可變
ニ非ザルコトヲエズ然レバ今マ不可變ナル者
ハ必ズ天祖遺勅トハ云ハズ何ゾ固有故ノ因ア
リテ亦タ不可變ヲ證スルコトヲ妨ゲン又タ第
二師ハ直ニ餘因可得ヲ以テ天祖遺勅ノ因ヲ難

ゼズシテ不遍ヲ以テ之ヲ難ズ由テ正義ニ非ズ
トス其ノ正義ニ非ザルコトヲ顯シテ理門論ニ
有餘ト云フ不徧トハ行キ渡ラヌコトナリ共和
論師ノ意ニ天祖遺勅ノ因ハ同品有非有ニシテ
同喩ノ天壤ニハ有ナレドモ北極ニハ非有ナリ
未ダ北極ノ天祖遺勅ト云フコトヲ聞カズ然レ
バ同品徧有ノ義ヲ闕ク故ニ正因ニ非ズ一分不
成ノ過アリト難ズ此ノ難非ナリ此ノ天祖遺勅
ノ因ヲ以テ一切法ノ不可變ヲ成ゼントスレバ
北極ハ天祖遺勅ニ非ズシテ而モ不可變ナレバ

所立ノ不可變ニ不偏トモ云フベケレドモ今ハ
唯ダ皇統可王ノ上ニ不可變アルコトヲ立ツル
ナレバ何ゾ北極ノ天祖遺勅ニ非ザルヲ妨ゲン
然レバ汝ガ難ハ似不成ニシテ真不成ニ非ズト
返破スルコトヲ得ルナリ

○第六ニ猶豫相似過類トハ猶豫トハ疑ヒテ決
セザルナリ此ノ相似過類ニモ亦タ二師ノ釋ア
リ第一師ハ宗ノ不可變ノ義ヲ別異ニ分別スル
ナリ即チ不可變ニニアリ一ハ不可變轉ノ義變
轉トハ交換ノ義ナリ二ハ不可變廢ノ義變廢ト

ハ廢止ノ義ナリ此ノ變ト云フ字義ニ就キテ交
換廢止ノ異ヲ分別シテ天祖遺勅ノ因ヲシテ不
定ナラシム謂ク天祖遺勅ノ故ニ不可交換ノ不
可變トヤセン天祖遺勅ノ故ニ不可廢止ノ不可
變トヤセン一天祖遺勅ノ因ガ交換廢止ノ二品
ニ轉ジテ定ノテ一宗ヲ成セズ故ニ不定ノ失ア
リテ正因ニ非ズト云フ此ノ難本ト非ナリ交換
ノ不可變ハ汝ガ妄増ニシテ我ガ云フ所ニ非ズ
我ハ唯ダ汝ガ共和政治ノ論ニ對シテ廢止ノ不
可變ヲ成立スコレ汝ガ不定ハ似不定ナリト返

破スルコトヲ得ルナリ第二師ハ因ノ天祖遺勅ニ於テ二差別ヲ分ツ一ハ直命ノ天祖遺勅ニハ託宜ノ天祖遺勅ナリ此ノ二差別ヲ分ケテ因ヲシテ猶豫ナラシム共和論師云ク汝ガ尊王論師ノ天祖遺勅ト云フハ直命ノ遺勅ナリヤ託宜ノ遺勅ナリヤ此ノ直命託宜ヲ分別セズ惣ジテ天祖遺勅ト云フ由テ因ニ不定ノ過アリ何ゾ能ク宗義ヲ證セン今マ之ヲ通ジテ云ク若シ直命ノ遺勅ハ不可變ニシテ託宜ノ遺勅ハ可變ト云ハバ猶豫ノ因ト云フベシ我ガ意口豈ニ然ランヤ

託宜ノ遺勅ニモアレ直命ノ遺勅ニモアレ俱ニ不可變ヲ成ズ何ゾ猶豫ノ因ナラン故ニ汝ガ難ハ似不定ノ難ナリ齒牙ニ掛クルニ足ラズト返破スルコトヲ得ルナリ

○第七ニ義准相似過類トハ是ハ本量ヲ倒離シテ義准シテ過失ヲ示ス因明ノ清規トシテ離作法ハ先宗後因ニシテ諸可變者皆見非天祖遺勅猶如奕碁等ト云フベキヲ先因後宗ニ倒離シテ諸非天祖遺勅者皆見可變ト云フ故ニ天祖遺勅ナル天壤ハ不可變ニシテ天祖遺勅ニ非ザル也

極ハ可變ト云フベシト非愛樂ノ北極可變ノ宗
ヲ成立スルニナル此ノ義准相似ハ似不定ノ難
ナリ難ノ意口皇統可王ハ是レ天祖遺勅ニシテ
不可變ナリ北極ハ天祖遺勅ニ非ズシテ可變ナ
ルベシ非天祖遺勅ハ天祖遺勅ニ反對スルモノ
ナリ然レバ非天祖遺勅ハ可變不可變ノ不定ナ
リ矣碁ノ如キハ可變ト云フベシ北極ノ如キハ
不可變ト云フベシ然レバ非天祖遺勅ニ反對ス
ル天祖遺勅ナレバ天祖遺勅ハ不可變ト定ム可
ラズ又夕可變ニ轉ズベシト天祖遺勅ノ因ヲ反

對義准シテ不定ナラ令ルナレドモ此ノ難本ト
非ナリ非天祖遺勅ハ既ニ可變不可變ニ通ズ由
テ不定ト云フベシ天祖遺勅ハ可變不可變ニ通
ゼバ局リテ不可變ナリ局ル者ヲ通ズル者ニ例
シテ顛倒離法シテ其ノ不定ヲ難ズルハ似顛倒
不定ニシテ真ノ不定ニ非ズ

○第八ニ至不至相似過類トハ是ハ尊王論師ノ
本量ニ過失ヲ付ケントテ共和論師ヨリ強テ徵
責シテ至ヲ難ジテ云ク汝ヲ天祖遺勅ノ因ヲ以
テ皇統可王長不可變ノ宗ヲ立スルハ如何ガ立

スル汝ガ舉グル天祖遺勅ノ因ハ不可變ノ宗ニ
至リテ立ストヤセン至ラズシテ立ストヤセン
若シ然ラバ何ノ失ヅニ俱ニ失アリ先ヅ至ルト
云フヲ責ムル中ニ於テ初ニ宗ニ就キテ責ノテ
云ク因ガ宗ニ至ルトナラバ河水ノ海ニ至ルガ
如ク相合シテ異ナシ河水海水差別ヲ見ズ宗因
相合シテ能立所立亦タ差別ナシ然レバ皇統可
王長不可變ハ所立ニ非ザルベシト次ニ因ニ就
キテ責ノテ云ク因ガ宗ニ至ルニ當リテ宗成ズ
トヤセン成ゼズトヤセン設シ然ラバ何ノ失ヅ

二俱ニ失アリ若シ成ゼズト云ハゞ因ガ宗ニ至
ルニ非ザルベシ猶ホ耳所聞ノ因ガ日輪應火聚
ノ宗ヲ成ゼザルト差別ナキガ如シ若シ成ズト
云ハゞ宗ガ若シ自成セバ此ハ是レ誰ノ因ゾ能
ク宗ヲ立ツルヲ以テ名ヅケテ因トスルコトヲ
ウ宗自ラ成ゼバ因ノ能ナカラシ因ノ能ナクシ
バ何ゾ是レ因ナラント又タ至ラズト云フヲ責
メテ云ク若シ宗ニ至ラズンバ此ハ是レ因ニ非
ズ耳所聞ノ因ガ日輪火聚ノ宗ニ至ラザルト差
別ナキガ故ニ然レバ此ノ天祖遺勅ノ因ハ彼ノ

眼見ノ因ト同ク亦タ不成因ナルベシト共和論
 師ガ如是天祖遺勅ノ因ヲ難ジテ言ノ上ニテハ
 因ヲシテ缺無ナラシメ義ノ上ニテハ因ヲシテ
 不成ナラシメントスレドモ此ノ難本ト非ナリ
 尊王論師之ヲ返破シテ云ク汝ガ至ルト云フヲ
 難ジテ云云スルハ不當云何トナレバ燈光ノ所
 照ニ至ルガ如ク能照所照體ヲ異ニス縦ヒ因ガ
 宗ニ至ルト雖モ何ゾ能所立ノ異ヲ妨ゲン又タ
 汝ガ至ラズト云フヲ難ジテ云云スルモ不當云
 何トナレバ磁石ノ鐵ヲ吸ヒ琥珀ノ塵ヲ引クハ

至ラザレドモ能ク吸ヒ能ク引ク因ガ宗ニ至ラ
 ズト雖モ何ゾ能ク宗ヲ立スルヲ妨ゲン又タ汝
 ガ天祖遺勅ノ因ノ不可變ノ宗ニ至ラザルコト
 眼見ノ因ノ聲無常ノ宗ニ至ラザルト同ゼ令ル
 ト雖モ抑モ天祖遺勅ノ因ハ因ノ三相ヲ具スル
 者ナリ已ニ因ノ三相ヲ具スル天祖遺勅ノ因ヲ
 三相不具ノ眼見ノ因ト至ラザルコト同ジトハ
 何ノ道理ゾヤ言ハ唯ダ遮表ナリ至ラザルコト
 ハ論ナシ因ガ宗ヲ成バルハ言ガ至ルニ非ズ義
 ガ至ルノナリ苟モ三相ヲ具セバ其ノ義必ズ至

ル是レ正因ナリ若シ強テ三相具足ノ天祖遺勅
ノ正因ヲ因歛ナリ或ハ不成ナリト難ゼバ一切
ノ因ニ正因ナキコトニナル何ゾ初相ヲ歛ク所
ノ眼見ノ因ト同日ノ論ナランヤ然レバ汝が因
歛ト云フハ似ノ因歛ニシテ真ノ因歛ニハ非ズ
又タ汝が不成ト云フハ似ノ不成ニシテ真ノ不
成ニハ非ズ又タ汝が所難ハ自屈ノ失アリ今マ
試ニ問テ云ハン汝が我が天祖遺勅ノ因ヲ以テ
皇統可王長不可變ヲ立スルヲ破スルハ至ルト
センヤ至ラズトセンヤ若シ至ルト云ハハ河水

ノ海ニ至ルガ如ク汝が能破ガ所破ニ至ル能破
所破差別ナカルベシ然レバ我が義モ所破ト云
フベカラズ汝が義モ能破ト云フベカラズ若シ
轉計シテ至ラズト云ハハ汝が能破ガ我が義ニ
至リテコソ初メテ能破ト名ヅクルコトヲ得ベ
キ本来我が義ニ至ラズ何ソ能破ト名ヅクルコ
トヲエン由テ汝が所言ハ自屈ノ失アリト云フ
コトヲ得ルナリ

○第九ニ無因相似過類トハ共和論師本量ヲ破
セントテ前後俱ノ三時ニ於テ非愛樂ノ言詞ヲ

發シ徵責シテ云ク汝が天祖遺勅ノ因ハ皇統可
王長不可變ノ宗ニ望ノルニ宗前ニ在リトヤセ
ン宗後ニ在リトヤセン俱時ニ在リトヤセン一
切皆ナ失アリ若シ汝が因ハ宗前ニ在リトナラ
バ其ノ時ニ當テ宗未ダ之レ有ラズ此ハ是レ誰
ガ因ゾ必ズ宗ヲ待チテ之ヲ立テ、因トセン今
マ未ダ宗アラザレバ因モ亦タアラザルベシ若
シ後ニ在ラバ所立ノ長不可變ハ未ダ因アラガ
ル前ニ既ニ成立シ畢ル然ラズンバ何ゾ有ナラ
ン既ニ成立シ終ル復タ何ゾ能成立ノ因ヲ須ヒ

ン若シ俱時ナラバ先キニ宗有リテ而モ宗ヲ待
チテ立テ、彼が因トスルニ非ズ此ハ是レ誰ガ
因ゾ先キニ因有リテ而モ因ニ成ゼラレテ方ニ
始ノテ成立スルニ非ズ此レ何ノ因ヲカ有スル
因ト有因ト皆ナ成就セズ牛ノ兩角ノカヲ相待
タザルガ如シ然レバ前ニ在ルモ不可ナリ後ニ
在ルモ不可ナリ俱ニ在ルモ不可ナリ如此レ徵逐
シテツヒニ天祖遺勅ノ因ヲシテ無ナラ令ルナ
リ由テ天祖遺勅ノ因ハ言ノ上ニテハ因歛ノ過
アリ義ノ上デハ不成ノ過アリト云フ是レ共和

論師ノ意ナリ」今マ反難シテ云ク天祖遺勅ノ因ニ前後俱ノ三難有リト云ハバ一切ノ因ニ皆ナ三難有リテ全世界ニ正因ナキコトニナル九ツ因明法ハ極成ノ因ヲ以テ不極成ノ宗ヲ成ズル何ゾ宗ノ前ニ因有ルヲ妨ゲン然ルニ三相具足ノ極成ノ因モ宗ノ前ニ在ラバ因ノ名ヲ得ズ即チ能立ニ非ズトハ此ハ是レ何ノ道理ゾ由テ汝が因歛ト云フハ似ノ因歛ナリ真ノ因歛ニ非ズ又タ汝ガ不成ト云フハ似ノ不成ナリ真ノ不成ニハ非ズ又タ汝ガ所言ハ自屈ノ過アリ今マ試ニ問テ云

ハン汝が我が義ヲ破ス前ニ在リトヤセン後ニ在リトヤセン俱時ニ在リトヤセン若シ汝ガ破ハ我が義ノ前ニ在ラバ我レ難ジテ云ハン爰ニ所破ノ義アリ彼ノ所破ニ對シテ能破ト名ヅクル未ダ所破ノ義有ラザレバ何者ニ對シテ能破ト名ヅクルヤ若シ我が義ノ後ニ在リト云ハバ我レ難ジテ云ハン我が義立セズ汝ガ破ヲ能破ト名ヅク我が義ハ既ニ已ニ成ズ汝ガ破ハ能破ニ非ザルベシ若シ我が義ト俱時ニ在リト云ハバ我レ難ジテ云ハン牛ノ兩角ノ如ク我ハ立シ

汝ハ破ス立破同時ニ在ルヲ能破所破ト名ヅケ
ザルベシ故ニ汝ガ所言ハ自屈ノ過アリト返破
スルコトヲ得ルナリ

○第十ニ無説相似過類トハ共和論師ガ尊王論
師ニ對シテ云ク汝ガ天祖遺勅ノ因ハ三相具足
シテ諸ノ過アルコトナシ然レドモ天祖遺勅ノ
因ヲ説ケバコソ此ノ因方サニ有ナリ未ダ説カ
ザルノ前ニハ此ノ因有ナラズ然レバ皇統可王
ノ所立宗モ亦タ無ナルベシ由テ因缺ノ過アリ
又タ此ノ因成ゼズ由テ不成ノ過アリ然レバ未

ク天祖遺勅ノ因ヲ説カザル已前ハ皇統可王ハ
長不可變ニ非ズシテ却テ可變ナルベシト此ノ
難非ナリ皇統可王ノ天祖遺勅ナルコトハ本来
極成セリ豈ニ天祖遺勅ト説クヲ待チテ初メテ
有ナランヤ然ルニ之ヲ無ト云フハ共和論師ノ
之ヲ了證セザルノミ未説已前ニ此ノ因無キニ
非ズ是等ノ類ヲ無説相似過類ト名ヅク
○第十一ニ無生相似過類トハ此ノ一過類ハ無
生ト云フ言ハ元ト聲ノ已生未生ニ就キテ出ヅ
ル目ナレバ皇統可王ノ本量ニテハ解シ難シ故

ニ所謂佛者ト聲顯論師ト對論スル聲無常勤勇
發故ノ舊量ニ就キテ其ノ義ヲ縷解スベシ即チ
聲顯論師ヨリ佛者ヲ難ジテ云ク聲ハ有為法ナ
レバ念クニ生ズ自體纔ニ生ジテ後ニ初メテ勤
勇發ノ義アリ未生ノ前ハ勤發ノ義因ナシ既ニ
勤發ノ義因ナケレバ無常宗モ亦タ有ナラザル
ベシ由テ無生トハ聲ノ生ズル已前ニハ勤發ノ
因ナキ故ニ所立宗ノ無常モ亦タ有ナラザルヲ
以テ無生ト云フ然レハ前ノ無說ノ如ク此ノ無
生モ生ノ前ニハ勤發ノ因ナキ故ニ所立宗ノ無

常ナカルベシ然レバ勤發ノ因ニ不成ノ過アリ
又夕聲ノ未生已前ニハ聲無常ノ宗ナキ過ノミ
ナラズ無常ニ相違スル常宗アリ云何トナレバ
勤勇ノ裏ハ非勤ナリ聲ノ未生已前ハ勤勇ノ體
義ナケレバ必ズ是レ非勤ナルベシ非勤ナラバ
常住ナルベシト無常宗ナキニ反顯シテ相違ノ
常宗有ラシム外人ノ意口聲ノ未生已前ニ約シ
テ勤發ノ因ヲ難ジテ無ナラシム以テ不成過ア
ラシム又夕聲ノ未生已前ニ相違ノ難ヲ付ケテ
勤發ナラバ無常ナルベシ未生已前ハ非勤ナル

因明論 卷之十一
故ニ常住ナルベシト難ジテ不定過アラシムト
此ノ難ハ第七義准相似ノ分類ナリ前ノ義准ハ
直ニ倒離ヲ以テ難ズ此ハ未生已前ニ就キテ倒
離ヲ説クナリ然ルニ此ノ難非ナリ正ク立量ノ
時ニ當リテ此ノ因ハ有法ニ於テ無ナリト顯ス
トキハ不成過アルベキナレドモ未生已前ニ於
テ不成過ヲ付ク由テ似不成ニシテ真ノ不成ニ
非ズ又夕正ク立量ノ時ニ當ラズシテ未生已前
ニ就キ而モ倒離シテ無理ニ義准相似ノ分ヲ以
テ因ヲシテ不定ナラシム由テ似不成ニシテ真

ノ不成ニ非ズ由テ此ノ無生相似過類ハ聲ノ已
生未生ニ就キテ聲無常ノ量ヲ破スル似破ナリ
故ニ今マ皇統可王長不可變ノ本量ニ就キテハ
活用シテ無生ノ言ヲ陳スベキ由縁ナシ由テ前
ニ陳述スル如ク聲無常ノ量ニ就キテ心得オク
ベシ

○第十二ニ所作相似過類トハ此ノ所作モ亦夕
聲無常所作性故ノ所作ノ因ニ就キテ繩輪ノ所
作ハ瓶ニ有ニシテ聲ニ有ナラズ又夕咽喉ノ所
作ハ聲ニ有ニシテ瓶ニ有ナラズ此ノ邊ヲ以テ

因ト喻トニ於テ過ヲ付スル一過類ナリ今マ強
テ天祖遺勅故ノ因ニ隨轉シテ示サバ皇統可王
ハ有法ナリ天壤ハ喻ナリ由テ共和論師難ジテ
云ク是ニ因過喻過ノニアリ因過トハ皇統可王
ト天壤ト同ク天祖遺勅ナリト雖モ天壤ノ喻ニ
關スル一分ノ天祖遺勅ハ皇統可王ニ有ナラズ
然レバ全分ノ皇統可王ハ何ゾ天壤ノ如ク不可
變ナラン此ノ意口天祖遺勅ノ因ガ喻タル天壤
ニ有ナル邊ノ一分ハ宗ノ皇統可王ノ一分ニ遍
ゼズ由テ天祖遺勅ノ因ニ不成ノ過アリ又夕皇

統可王ノ上ニ法タル天祖遺勅ノ一分ハ天壤ノ
一分ニ有ナラズ天壤ノ全分何ゾ皇統可王ノ同
品ナラン是レ同品有ヲ缺ク由テ相違因ノ過ア
リ又夕皇統可王ニ法タル一分ノ天祖遺勅ハ唯
ダ同品ノ天壤ノ喻ニ有ナラザルノミナラズ亦
夕異品ノ奕碁ノ喻ニモ無ナリ是レ同品非有異
品非有ノ故ニ不共不定ハ過アリト難ズ已上ハ
因ノ過ナリ喻過トハ天壤ヲ引キテ同喻トス然
ルニ此ノ天壤ハ皇統ノ直指ニ異ナル比喻ノ遺
勅ナリ此ノ比喻ノ遺勅ハ皇統ノ有法ニ遍ゼズ

由テ天壤ノ同喩ニ所立不成ノ過アリト難バ此
ノ四難通ジテ非ナリ天祖遺勅ハ是レ惣ナリ皇
統可王宗ノ天祖遺勅ト天壤喩ノ天祖遺勅トハ
是レ別ナリ凡ソ因明ノ清規トシテ因喩之法不
可_ラ分別_スタゞ其ノ惣ヲ取ル別ヲ取リテ因喩ノ體
ト為ス可_ラズ然ルニ今マ皇統可王ト天壤トノ
天祖遺勅ヲ簡異シ別ヲ取リテ難ヲ為ス由テ似
破ニシテ真破ニ非ズ若シ別義ヲ取リテ因體ト
セバ因ハ決定異ニシテ宗喩ヲ貫カズ一切比量
ニ正因ナキコトニナル由テ此ノ第十二過類ニ

強テ名ヲ施サバ天祖遺勅相似過類トモ云フベ
キ歟

○第十三ニ生過相似過類トハ無過ニ過ヲ生ズ
ルヲ生過ト云フ共和論師無過ニ過ヲ生ジテ云
ク天壤若シ不可變ナラバ皇統可王モ亦タ不可
變ナルベシ然ルニ天壤ノ不可變ハ更ニ何ノ因
ヲ以テ證知スルヤト難ジテ其ノ意口天壤ノ同
喩ニ所立法不成ノ過ヲ付スレドモ此ノ難非ナ
リ天壤ノ不可變ハ共許至極成就セリ然ルニ今
マ妄ニ因ヲ求メテ所立不成ノ過トス是レ真ノ

過ニ非ズ喻ノ中ノ所立法不成ノ似セ者ナリ
○第十四ニ常住相似過類トハ是レ亦夕聲無常
ノ量ヲ難ズル過類ナリ由テ皇統可王長不可變
ノ量ニ付クトキハ常住ノ言ハ隨轉スベキ義由
ナシ由テ聲無常ノ量ニ就キテ其ノ相ヲ示サン
聲ノ無常ハ獨リ無常ナルニハ非ズ別物ノ無常
性アリテ恒常ニ隨逐シテ能ク無常ナラ令ル此
ノ無常性ハ常ニ捨セザルガ故ニ無常ノ聲ハ常
住ナルベシト云フ難ナリ破者ノ意口本量ノ聲
無常ノ宗ガ後因ノ與無常性合恒不捨故ノ因ニ

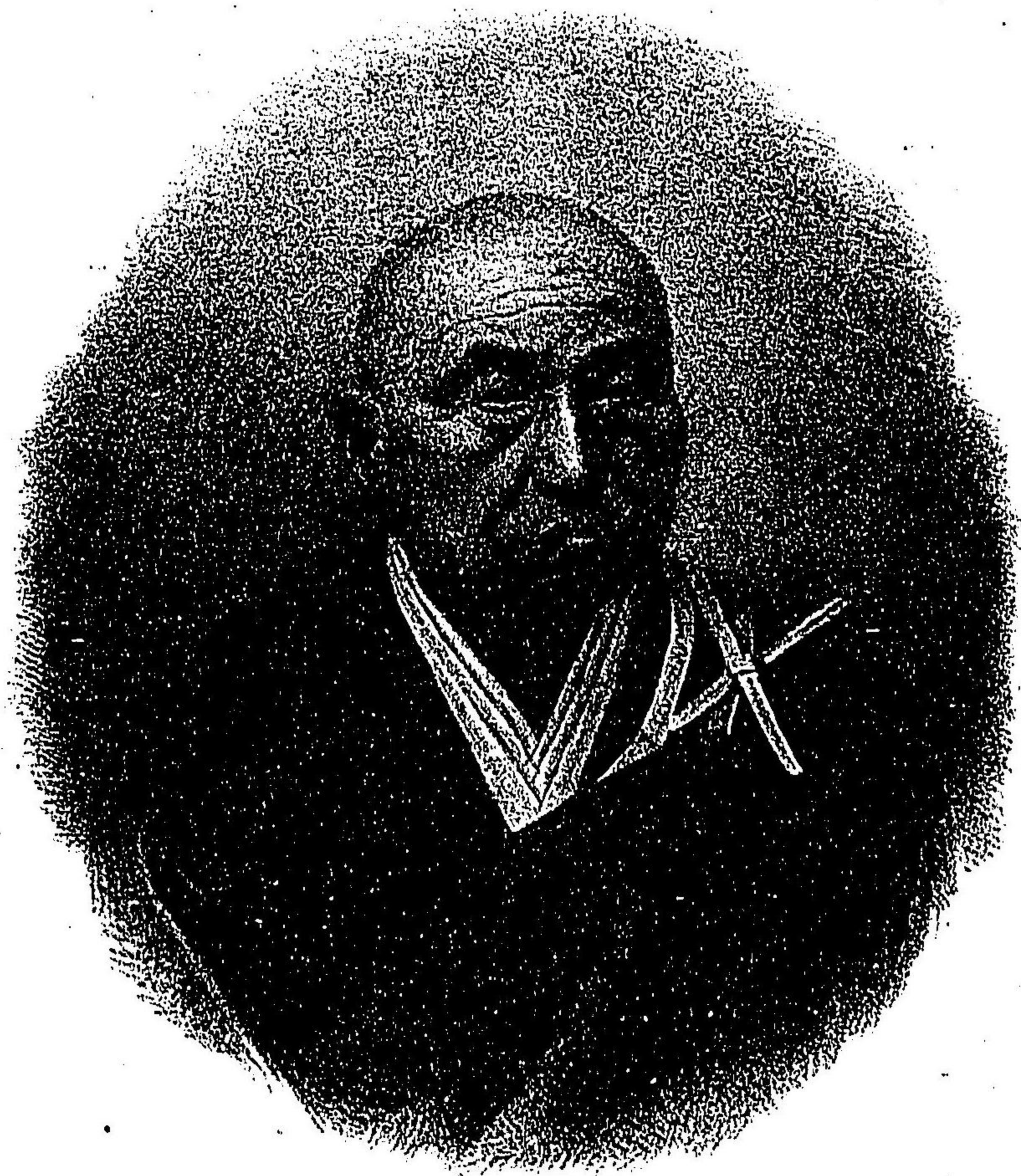
違スル故ニ比量相違トナルト云フナレドモ是
レ亦夕別物ノ無常性ヲ增益シテ立ツル所ノ因
ナルガ故ニ似ノ比量相違ナリ真ノ比量相違ニ
非ズ已上十四相似過類中初ノ十一過類ハ皆ナ
因過ノ似セ者ナリ第十二ノ所作相似ハ因過
過ノ似セ者ナリ第十三ノ生過相似過類ハ喻過
ノ似セ者ナリ第十四ノ常住相似過類ハ宗過ノ
似セ者ナリ然レバ宗因喻ノ三支中ニモ因ニ於
テ似能破ノ過類最モ多ク亦夕似能立三十三過
ノ中ニテモ宗ハ九過喻ハ十過ニシテ獨リ因ニ

ハ十四過アリ其ノ過相亦夕最モ多シ然レバ宗
因喻三支中因ノ一支ハ能立ニモアレ能破ニモ
アレ尤モ緊要ナレバ十分注意シテ諸過失ヲ離
ルベキコトナリ

右因明活眼二卷ハ泛ク因明法ヲ論ズト雖モ其
ノ實ハ拙衲多年尊王ノ赤衷ヲ寓托スル者ニシ
テ國體維持ノ萬分ニ裨益アランガ為ノ畏クモ
我國皇統可王ノ一新量ヲ立説シ是ヲ本量ト定
メ加フルニ數多ノ新量ヲ以テシ凡ソ論者ヲシ
テ古來ノ因明ヲ現在ニ活用セシメント要スル

ヨリ論述セシ所ニシテ名ヅケテ因明活眼ト云
フ所以ナリ庶幾ハ世ノ論者此ノ一斑ニ由テ推
衍擴充シテ大活眼ヲ開キ心ヲ尊王ニ用ヒンコ
トヲ若シ其ノ全豹ニ至リテハ區々タル此ノ書
ノ盡スベキニ非ズ予別ニ冠註入正理論疏及ビ
同方隅録等ノ著アリ宜ク就テ考フベシ時明治
十六年三月六日心幽處南軒下ニ於テ淨書畢

因明活眼卷之下 終



忠順曰
 ロジックハ元ト思
 想ト言辞トヨリ
 テ推理スルノ法ナ
 リ專ラ對敵議
 論スルノ法ニ非ズ
 然レドモ推理スル
 法ナレバ正理ヲ推
 究シ議論ニ應
 用スルモ其用ヲ成
 ガルニアラザルヤ知
 ルベキナリ唯專ラ
 對敵議論スル
 法ニ非ルナリ又
 タ因明法ハ正理
 ト思フ所ヲ執
 シ專ラ對敵議
 論スルノ法ナリ
 又タ破撃スルノ
 法ナリ論ノ句
 アルヲ以テモ明

日月吉良

五十九

要活因の大有成也今
 留錫在東京青之不
 結成國多唯於論場
 多破意了

晃耀自題

阿珍了什書

明治十七年二月五日版權免許

同年五月 出版

定價金八拾錢



因明活眼
 該書ハ專ラ因明ニ支立量ノ活用ヲ要トスル作ニテ一部ヲ十
 二章段ニ分チ因明ノ大綱要領ヲ示シ尚ホ一箇ノ新立
 量ヲ基礎トシテ三十三過十四過類ノ作法ヲ知ラスルニ手
 近ク人ノ見聞スルコト愛知縣平民ヲ擧テ一々指示セ
 著者兼リ今時因明ヲ世間ニ活用スル手本トナル
 出版人 雲英晃

三河國幡豆郡一色郡
 番外居住

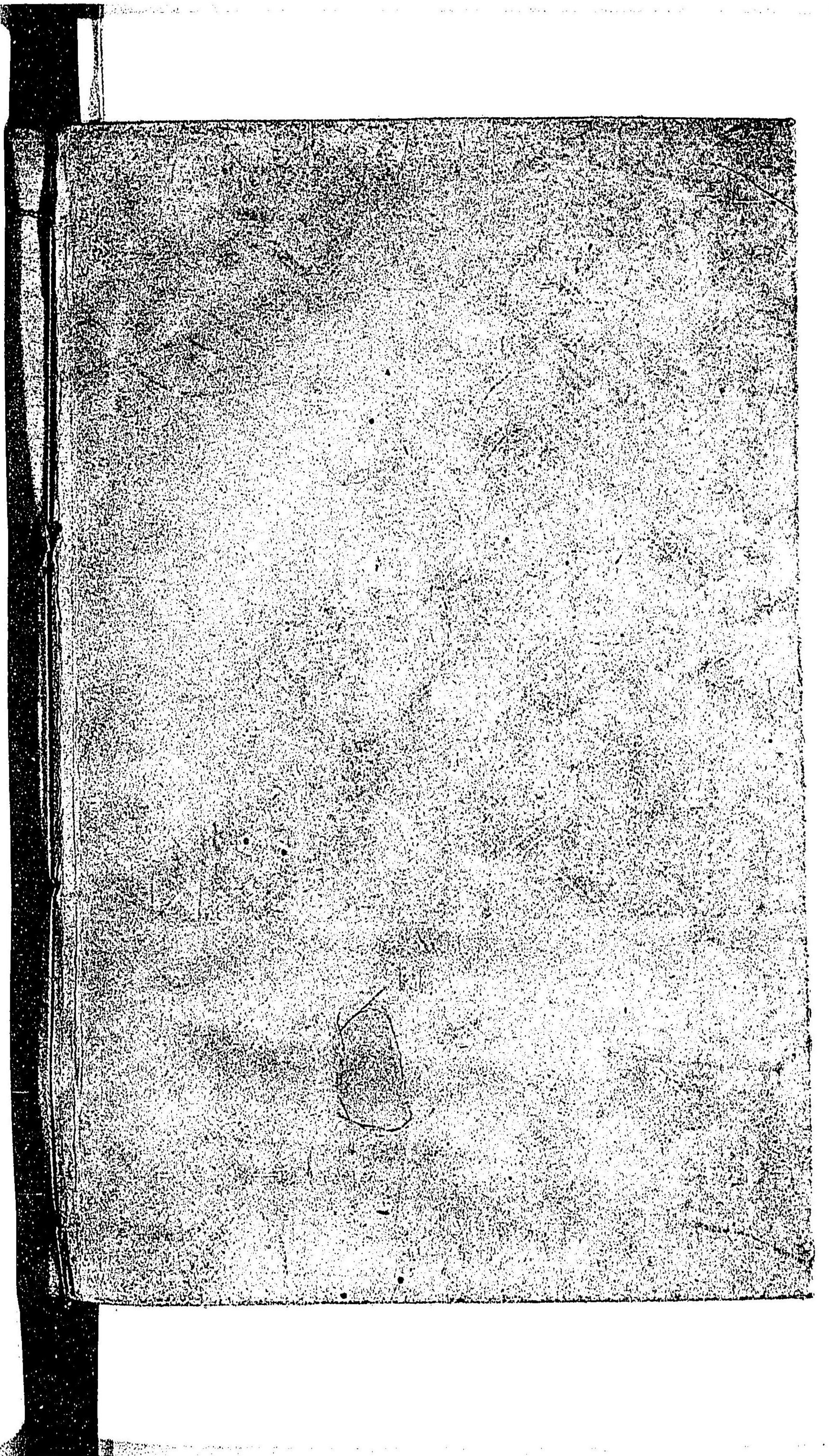
瞭ナリ唯々思
想ト言辞トヨ
リ推究スル法ノ
ロジックト混同
ナスカレ故ニ推理
ヲ志セハロジック
ヲ学ブベシ又々
議論ヲ志セハ因
明法ヲ学ブベシ
明治元年七月八日識

日
明
治
元
年
七
月
八
日
識

發兌書肆

新	金	長	同	名	横	大	西	同	東
瀧	澤	崎		古	濱	坂	京		京
				屋					
小	益	鶴	片	丸	丸	叢	西	北	丸
林	智	野	野	善	善	書	村	畠	屋
次		常	東	支	支		九	茂	善
郎	館	造	四	店	店	閣	郎	兵	七
			郎				右	衛	
							衛	門	

206



特56

771

014745-000-1

特56-771

因明活眼

雲英 晃耀/著

M17

ABC-0035

